RAW 264.7

400319

□要

□明

RAW264.7□胞は、Abelsonマウス白血病ウイルスによって腫瘍が誘導された雄マウスの腹水から誘導されたマウスマクロファージ□胞株で、免疫学的および感染症研究に広く用いられている。不死化□胞株として、RAW264.7□胞は、病原体に対する免疫応答、シグナル伝達、遺伝子発現を含むマクロファージ生物学を研究するための重要なモデル系である。RAW264.7□胞は、マクロファージ様□胞への分化能において特に価値が高い。これらの □胞は、炎症反応に関連するM1マクロファージ、あるいは組織修復や抗炎症過程に関連するM2マクロファージに極性化することができる。この偏光能は、ピノサイトーシスやファゴサイトーシスといったマクロファージに不可欠な機能を発揮する能力とともに、マクロファージの生物学や免疫応答と病原体との複雑な相互作用の研究において重要であることを強調している。

RAW264.7□胞は、病原体や骨生物学を含む様々な因子と免疫系との相互作用の研究に役立っている。 RAW264.7□胞は、RANKL（Receptor Activator of Nuclear Factor κB Ligand）への暴露など、特定の条件下で破骨 □胞様□胞への分化を誘導することができ、破骨 □胞生物学と骨吸収のある側面を研究するモデルとなっている。

LPS（リポ多糖）などの因子によって引き起こされる炎症性 □胞死プロセスであるパイロプトーシスの誘導を含む、様々な刺激に対する RAW264.7□胞株の応答は、炎症性サイトカイン産生に至る経路の解明に役立っている。 □胞外グルコースレベルのような環境条件が □胞機能と表現型に与える影響は、 □胞代謝と炎症反応の潜在的なダウンレギュレーションに関する洞察を提供する。

RAW264.7□胞は、マウス白血病を起源とし、免疫学的研究において広範に使用されていることから、マクロファージの生物学、免疫系と病原体の動態、骨免疫学、炎症反応に関する理解を深める上で極めて重要なツールであり、基礎および応用の両方の生物医学研究において不可欠な役割を担っている。

ティッシュ	腹水
病気	白血病

同義語

- RAW264
- RAW2647
- RAW264.7
- RAW-264.7
- Raw 264.7
- Raw264.7

分類

生物	マウス
セックス	男性
成長特性	アドヘレント
バイオセーフティレベル	2

特徴

細胞の種類	マクロファージ
倍増時間	RAW264.7□胞は11時間から30時間の倍加時間を示した。

識別子

引用

RAW 264.7（サイシオン カタログ番号 400319）

NCBI 納税者番号	10090

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

セロサウルス	CVCL_0493

発現と感受性

発現している受容体

免疫グロブリン（Fc）、補体（C3）

抗原発現

H-2d

ウイルス

この□胞株を検査したところ、□胞培養上清および□胞抽出液中のC型レトロウイルスの逆転写酵素（RT）活性が陽性であった。エクトロメリアウイルス（マウスポックス）が分泌される可能性がある。

製品

リゾチーム

取り扱いと飼育

培地

RPMI1640、w：2.0mM安定グルタミン、w：2.0g/L NaHCO3（Cytion article number 820700a）

培養雰囲気	37℃、5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSを加える

解離試薬	粘着性の強いセル、セルスクレーパーの使用

継代培養

接着した□胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウ ムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコでは3-5ml、T75フラスコでは5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコでは1-2ml、T75フラスコでは2.5mlのアキュターゼで□胞を完全に覆う。室温で8-10分間インキュベートし、□胞を剥離させる。インキュベーション後、 □胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、 300xgで3分間遠心する。上清を捨て、 □胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

播種密度	4×10^4 □胞/cm^2
流体の更新	週2~3回

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。

□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、 □胞培養物は毎日目視検査が行われる。

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10％DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

品種／亜種	BALB/c
ドナーの年齢	アダルト

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

免責事項

当社の□胞は、試験管内での研究目的に限定して提供されるものであり、臨床的または診断的使用を意図したものではなく、ヒトへの投与や獣医学的目的に使用されるものでもありません。使用者は、研究環境におけるこれらの □胞の取り扱いと使用について、適用されるすべてのガイドラインと規制を遵守しなければなりません。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB